

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 心理検査法			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのよ心理臨床の実務経験に基づき、心理臨床の実践に必要な心理検査の概要について、体験的に学ぶ授うな授業を行っているか: 業展開を行っている。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
心理検査の基礎を学び、人間の多様な心理を客観的に根拠をもって理解するための技術の基礎を習得し、自らを客観的に捉える力を養う。					知能検査、発達検査、脳機能検査、性格検査	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6.	
A 知識・理解力			心理検査の基礎知識を身に付けている。			
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。			
E 自己管理能力			自己を客観的に見つめ理解し、自らを律することができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 詳細は初回時に説明する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 中間期と期末にフィードバックする。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①心理検査実施時の注意事項、倫理規定および報告書の書き方。				心理・福祉における倫理規定を調べる。	30	
②知能検査1:ピネー式知能検査				ピネー式知能検査についてまとめる。	60	
③知能検査2:ウェクスラー式知能検査				ウェクスラー式知能検査についてまとめる。	60	
④知能検査3:その他の知能検査				知能検査について復習する。	60	
⑤性格検査1:質問紙法検査				質問紙法性格検査についてまとめる。	60	
⑥性格検査2:投影法検査				投影法性格検査についてまとめる。	60	
⑦性格検査3:作業検査法検査				作業検査法性格検査についてまとめる。	60	
⑧知能検査と性格検査のまとめ				レポートをまとめる。	60	
⑨乳幼児の発達に関する検査				発達検査についてまとめる。	60	
⑩行動・社会性に関する検査および親子関係に関する検査				行動・社会性に関する検査についてまとめる。	60	
⑪言語発達に関する検査				失語症検査についてまとめる。	60	
⑫知覚・感覚に関する検査				知覚に関する検査についてまとめる。	60	
⑬記憶に関する検査				記憶検査についてまとめる。	60	
⑭高次脳機能検査				高次脳機能検査についてまとめる。	60	
⑮全体のまとめ				総復習をする。	120	
使用テキスト: テキストなし。必要な資料等は講義時に配布する。				その他参考文献など: 松原達哉(編)心理テスト法入門第4版—基礎知識と技法習得のために—[日本文化科学社]		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 心理・福祉の領域で用いられている各種心理検査について学び、体験しながら、心理アセスメントの基礎を学びます。体験学習によるアクティブ・ラーニングで学びます。						

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 臨床心理学			担当教員 氏名: 石津 孝治			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	後期	専門科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、事例検討を行うことにより、理解を深める。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
心理的援助についての理論ならびに技法の基礎と心理療法プロセスについて扱う。精神分析やクライアント中心療法、行動療法といった、主要な心理療法各学派の理論と技法について概説した後、事例検討を多く取り入れることによって心理療法プロセスについて学ぶとともに、知識の定着を図りたい。					・心理学的援助 ・事例検討	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 8. 9.	
A 知識・理解力			心理学的援助の理論と技法に関する基礎的概念を理解する			
C 論理的思考力			理論が援助プロセスでどのように生かされるかについてイメージを持てる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション) デベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定める。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①来談者中心療法の理論と技法に関する知識を習得する。				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
②来談者中心療法が重視する、共感、受容の本質について焦点を当て、事例を用いて理解を深める。				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
③精神分析1(精神分析の人格論、技法論に関する知識を習得する)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
④精神分析2(精神分析の発達論についての知識を習得する。)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑤事例検討1(PTSDの治療例を素材とし、心的外傷の援助について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑥プレイセラピーの理論と技法について学ぶ。				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑦事例検討2(子どものプレイセラピー実践例を素材とし、子どもの援助に必要な知識、態度について学ぶ)				予習。①～⑥までの内容の理解を確認する。	予習30分	
⑧前半のまとめ。心理学的検査法(投影法による人格検査を実体験し、その方法と意義を学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑨事例検討3(うつ病の治療例を素材とし、うつ病者に対する援助方法について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑩事例検討4(子どものプレイセラピーと箱庭を併用した実践例について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑪コラージュ療法体験				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑫事例検討5(被虐待児とその母親に対する心理治療例を素材とし、被虐待児と母親の援助について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑬事例検討6(行動化を伴ったうつ症状を呈する心理治療例を素材とし、行動化の意味と対応について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑭児童養護施設児童の心理的援助について学ぶ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑮全体のまとめ。心理的援助の本質について				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: スポーツ理論			担当教員 氏名: 本田 由美子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
スポーツと運動文化について、その歴史的变化の過程を踏まえて総合的に理解を深めるとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを設計し実践してゆく方法を学ぶ。特にスポーツが健康に及ぼす効果を理解する。				・スポーツ ・運動 ・健康	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 8	
A 知識・理解力		スポーツ文化を歴史的に幅広く理解する。			
C 論理的思考力		運動が健康に及ぼす影響について具体的に理解し実践できる能力を養う。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 30 %	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: アクティブラーニングの一環として、新聞等のスポーツ記事をファイルし、発表とディスカッションを行なう。その他には、授業中の態度と提出物の内容・提出状況等で評価する。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> グループワーク <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第7回目と第15回目にレポートを提出する。筆記テストは別に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: スポーツ記事ファイルにコメントを加え返却する。テストは採点し返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション・スポーツ体験発表			【復習】スポーツの実施		
②スポーツと健康			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】②の復習	【予習】120分	【復習】120分
③スポーツと体力づくり			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】③の復習	【予習】120分	【復習】120分
④スポーツの生理学①			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】④の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑤スポーツの生理学②			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑤の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑥基礎的トレーニング法①			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑥の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑦基礎的トレーニング法②			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑦の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑧トレーニングプログラムの作成			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑧の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑨スポーツ事故と安全管理			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑨の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑩運動障害と救急法			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑩の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑪高齢者の健康と運動			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑪の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑫運動文化の歴史 ①スポーツの変遷と国際理解			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑫の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑬運動文化の歴史 ②スポーツの社会的役割			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑬の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑭生涯スポーツに向けて			【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑭の復習	【予習】120分	【復習】120分
⑮まとめ			【予習】①から⑭までの復習	【予習】240分	
使用テキスト: 毎時間プリント配布			その他参考文献など: 「スポーツトレーニングの基礎理論」西東社 「目でみる筋力トレーニングの解剖学」大修館書店		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日頃から、自分自身のからだを取り巻く状況から、スポーツに関するニュースまで注意して、それらが意味することを考えるように心がけてください。					

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 地域福祉論Ⅱ			担当教員 氏名: 門田 晋			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 実践的な地域福祉の方法を身に付けるため、実務経験を活かしながらソーシャルワークの視点から地域課題を分析						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
地域福祉論Ⅰに引き続き、地域福祉の展開の仕方を各方法論を用いながら、最近の地域福祉の動向と結びつけ課題解決の方法を学ぶ。					コミュニティソーシャルワーク、 地域福祉の推進、 アウトリーチ、ソーシャルアクション	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9	
A 知識・理解力	地域福祉に関する知識を体系的に理解することができる。					
B 専門的技術	地域福祉を実践できる能力を習得する。					
C 論理的思考力	社会問題を地域福祉の概念を根拠にし、複眼的理論的に分析し、支援に活かせる。					
D 問題解決力	地域課題を解決するために必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。					
H コミュニケーション力	地域課題を多角的に分析するため、協働しながら問題を解決するコミュニケーション力を養う					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 80 %	発表: 10 %	実技試験:	%	その他: 10 %
特記事項:「その他」においては、授業中の態度などで評価する。 本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークとプレゼンテーションを行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは毎回提示、中間レポートは第7回目、期末はレポート別に定めた日時に実施。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートと中間レポートと期末レポートはABCD評価で採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①地域福祉の推進方法Ⅰ			【予習】Vの地域福祉の推進方法の1~4を読む 【復習】Vの地域福祉の推進方法の1~4をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
②地域福祉の推進方法Ⅱ			【予習】Vの地域福祉の推進方法の5~9を読む 【復習】Vの地域福祉の推進方法の5~9をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
③地域福祉を推進する人Ⅰ			【予習】VIの地域福祉の推進主体①の1~4を読む 【復習】VIの地域福祉の推進主体①の1~4をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
④地域福祉を推進する人Ⅱ			【予習】VIの地域福祉の推進主体①の5~7を読む 【復習】VIの地域福祉の推進主体①の5~7をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑤地域福祉を推進する組織Ⅰ			【予習】VIIの地域福祉の推進主体②の1~4を読む 【復習】VIIの地域福祉の推進主体②の1~4をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑥地域福祉を推進する組織Ⅱ			【予習】VIIの地域福祉の推進主体②の5~7を読む 【復習】VIIの地域福祉の推進主体②の5~7をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑦子供と地域福祉Ⅰ			【予習】VIIIの子供と地域福祉の1~3を読む 【復習】VIIIの子供と地域福祉の1~3をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑧子供と地域福祉Ⅱ			【予習】VIIIの子供と地域福祉の4~5を読む 【復習】VIIIの子供と地域福祉の4~5をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑨災害と地域福祉Ⅰ			【予習】IXの災害と地域福祉の1~3を読む 【復習】IXの災害と地域福祉の1~3をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑩災害と地域福祉Ⅱ※演習			【予習】IXの災害と地域福祉の4を読む 【復習】IXの災害と地域福祉の4をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑪地域福祉計画Ⅰ			【予習】Xの地域福祉計画とその実際の1~2を読む 【復習】Xの地域福祉計画とその実際の1~2をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑫地域福祉計画Ⅱ			【予習】Xの地域福祉計画とその実際の3~4を読む 【復習】Xの地域福祉計画とその実際の3~4をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑬地域福祉計画Ⅲ			【予習】Xの地域福祉計画とその実際の5~7を読む 【復習】Xの地域福祉計画とその実際の5~7をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑭地域福祉と評価Ⅰ			【予習】XIの地域福祉と評価手法の1~2を読む 【復習】XIの地域福祉と評価手法の1~2をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑮地域福祉と評価Ⅱ			【予習】XIの地域福祉と評価手法の3~4を読む 【復習】XIの地域福祉と評価手法の3~4をレポートでまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト: 新版よくわかる地域福祉(ミネルヴァ書房) ISBN978-4-623-08592-7				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 地域福祉の基礎からの地域福祉の展開や方法を学んでいきます。地域福祉の理解を促進するため予習と復習を行ってください。						

看護学科

科目名： 体育と運動生理			担当教員 氏名： 小川 耕平			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 本講義は、中・高等学校の教育現場における体育教師としての立場、管理者としての立場から得た知見とその経験を活かし、人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする指導を行うものとする。						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする。特に生活習慣病予防や介護予防の運動処方や実践方法について理解を深める。						運動・健康生理学 介護予防運動
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		2. 3. 6. 7. 9	
A 知識・理解力			人体の仕組みについて生理学的に理解ができる。			
B 専門的技術			人体の仕組みについて生理学的に理解し、医学(看護)と運動を関連付けることができる。			
D 問題解決力			疾病や予防のために必要な健康・体力づくりについて生理学的に理解できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 70% %	レポート： 30 %	発表： %	実技試験： %	その他： %		
特記事項：						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：中間評価および全体振り返りは、別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：毎回ノートの確認時にコメントシートを渡す。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①我が国の健康づくり施策と現状について				【復習】我が国の健康づくりについて理解する	30分	
②運動の継続と実践への取り組みについて				【復習】運動継続のポイントを理解する	30分	
③トレーニングの原理・原則とトレーニング方法について				【復習】トレーニング方法を理解する	30分	
④生活習慣病と運動について				【復習】生活習慣病について理解する	30分	
⑤簡易健康・体力測定と運動の実践				【復習】体力測定方法について理解する	30分	
⑥高齢期の健康・体力と運動について				【復習】高齢期の運動特性を理解する	30分	
⑦幼児期の健康・体力と運動について				【復習】幼児期の運動特性を理解する	30分	
⑧環境と運動について(中間振り返り)				【復習】運動環境について理解する	30分	
⑨体力の概念について				【復習】体力の概念について理解する	30分	
⑩神経系の役割について				【復習】神経系の働きについて理解する	30分	
⑪エネルギーの産生について				【復習】体を動かすエネルギーについて理解する	30分	
⑫筋系の特性と機能について				【復習】筋肉の特性について理解する	30分	
⑬酸素運搬能力について(呼吸循環系)				【復習】酸素運搬能力について理解する	30分	
⑭運動の効果について				【復習】運動の効果について理解する	30分	
⑮まとめ				【予習】看護現場における運動の知識をまとめる	30分	
使用テキスト： 随時プリント等で配布します。				その他参考文献など： ・健康・運動の科学(講談社) ・運動とスポーツの生理学(市村出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：理解できない点があればその時点で質問することを勧めます。 ・簡単な体力測定を実施します。(ウォーキングテスト・シャトルラン・簡易体力測定・筋力トレーニング実践)						